

### 3 人口・世帯

#### 第1節 人口・世帯の推移

本市の人口は、昭和22年臨時国勢調査の123,230人を頂点として、以後減少を続けてきた。高度経済成長時代を迎え人口の大都市集中化が進展する中で、本市も人口供給地域として昭和45(1970)年までの間に急激な人口流出を続けてきた。しかし、大都市の過密による弊害、続いて昭和48(1973)年の石油ショックに端を発した長期的不況は、大都市への人口流出を鈍化させた。こうした情勢を背景として、本市では、積極的な企業誘致と都市的機能の整備を進める中で、人口は昭和50年国勢調査の93,900人を底として増加の基調に転じ平成7国勢調査には101,427人と10万人超となった。しかし、原子力発電所全号機の完成、市内大手企業の撤退・縮小による従業員の転出及び市外への進学等により、平成12年国勢調査で再び減少し、令和2年国勢調査による人口は81,562人で、前回平成27年国勢調査から5,307人(6.1%)減少した。

人口分布状況は、中央部81.6%、東部7.4%、西部1.1%、南部2.0%、北部0.4%、高柳町1.5%、西山町6.0%、と全市において減少している。

新潟県の人口は、2,201,272人であり、本市の占める割合は3.70%となり、前回の3.77%から0.07ポイント減少した。

世帯数は33,904世帯で前回より344世帯(1.0%)増加した。

人口の推移

(単位：人・%)

区 分		平成12年 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和2 (2022)	
(旧) 柏崎市	中央部	旧 柏 崎	43,291	42,265	41,676	40,484	39,267
		西 中 通	6,048	6,152	6,354	6,100	6,042
		荒 浜	5,316	5,320	5,115	4,796	4,428
		北 鯖 石	3,442	3,417	3,452	3,279	3,086
		田 尻	8,996	8,843	8,838	8,961	8,539
		高 田	5,825	6,036	6,022	5,623	5,165
		中央部計	72,918(74.5)	72,033(76.1)	71,457(78.1)	69,243(79.7)	66,527(81.6)
	東 部	中 通	1,883	1,765	1,583	1,444	1,267
		中 鯖 石	2,004	1,791	1,621	1,448	1,280
		南 鯖 石	1,982	1,689	1,473	1,209	938
		北 条	4,181	3,740	3,323	2,932	2,521
		東部計	10,050(10.3)	8,985(9.5)	8,000(8.7)	7,033(8.1)	6,006(7.4)
	西 部	上 米 山	347	306	239	211	174
		米 山	1,369	1,231	1,086	920	759
		西部計	1,716(1.8)	1,537(1.6)	1,325(1.4)	1,131(1.3)	933(1.1)
	南 部	上 条	1,220	1,155	1,028	952	780
		黒 姫	1,783	1,536	1,264	1,025	828
		南部計	3,003(3.1)	2,691(2.8)	2,292(2.5)	1,977(2.3)	1,608(2.0)
	北 部	高 浜	731	657	513	424	350
		北部計	731(0.7)	657(0.7)	513(0.6)	424(0.5)	350(0.4)
	(旧) 高 柳 町		2,502(2.6)	2,241(2.4)	1,859(2.0)	1,504(1.7)	1,187(1.5)
(旧) 西 山 町		6,976(7.1)	6,504(6.9)	6,005(6.6)	5,521(6.4)	4,915(6.0)	
柏 崎 市 計		97,896	94,648	91,451	86,833	81,526	

※( )の数字は柏崎市計に占める割合

【資料：企画政策課(国勢調査)】

## 世帯数の推移

(単位：世帯)

区 分		平成 12 年 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和 2 (2022)	
(旧) 柏 崎 市	中 央 部	旧 柏 崎	16,502	16,510	16,989	16,914	17,477
		西 中 通	1,850	1,958	2,212	2,084	2,297
		荒 浜	1,829	1,908	1,931	1,845	1,807
		北 鯖 石	902	954	997	1,006	1,036
		田 尻	2,865	2,888	2,896	3,188	3,286
		高 田	2,009	2,099	2,230	2,160	2,151
		中央部計	25,957	26,317	27,255	27,197	28,054
	東 部	中 通	518	511	495	475	452
		中 鯖 石	543	532	518	500	477
		南 鯖 石	611	573	535	482	426
		北 条	1,210	1,157	1,090	1,025	956
		東 部 計	2,882	2,773	2,638	2,482	2,311
	西 部	上 米 山	94	86	77	68	59
		米 山	399	386	377	342	318
		西 部 計	493	472	454	410	377
	南 部	上 条	323	331	323	303	269
		黒 姫	562	524	466	402	356
		南 部 計	885	855	789	705	625
	北 部	高 浜	263	256	202	176	153
		北 部 計	263	256	202	176	153
	(旧) 高 柳 町		904	906	751	668	531
(旧) 西 山 町		2,089	2,117	2,015	1,922	1,853	
柏 崎 市 計		33,473	33,696	34,104	33,560	33,904	

【資料：企画政策課（国勢調査）】

※世帯数は一般世帯と施設等の世帯の合計

※(旧) 柏崎市の地域区分は国土利用柏崎計画に基づく。

※平成 22 年国勢調査結果の秘匿方法の変更のため、平成 17 年国勢調査の集計値を一部改訂

## 人口集中地区人口と面積の推移

(単位：人・km<sup>2</sup>)

区 分	平成 12 年 (2000)	17 (2005)	22 (2010)	27 (2015)	令和 2 (2022)
人 口	40,779	40,199	40,176	30,987	35,614
面 積	10.3	10.46	10.62	9.15	10.96

【資料：企画政策課（国勢調査）】

※人口集中地区の設定に当たっては、国勢調査基本単位区及び基本単位区内に複数の調査区がある場合は調査区（以下、基本単位区等という）を基礎単位として、人口密度が 4,000 人/k m<sup>2</sup>以上あり、基本単位区等が市町村の境域内で互いに隣接した人口が国勢調査時に 5,000 人以上となる地域。

## 第2節 人口移動

人口移動に伴う社会増減については、平成7(1995)年までは「企業進出、高速道路・原子力発電所の建設等の大規模プロジェクトによる就業機会の増大」及び「新潟産業大学の学部増設、新潟工科大学の開学」を要因として増加し、平成8(1996)年以降は「原子力発電所の建設完了」や「バブル経済崩壊後の景気低迷による一部企業の市外転出」といった雇用環境の変化に伴い、減少に転じた経過がある。

その上で近年は、少子高齢化の進行とあいまって、「中山間地における高齢化と過疎化」、「進学率の上昇に伴う高校・大学・専門学校などの市外、県外へ若者層の流出」と、転出傾向に一層拍車がかかっている。

社会増の起因となる就業機会については、平成16(2004)年に発生した中越大震災及び、平成19(2007)年に発生した中越沖地震によるインフラ・住宅等の災害復旧工事に伴い、建設業を中心とした一過性の就業機会の増加が生じたものの、大きな転入増加要因とはならず、結果として社会減の状況が続いている。

自然増減については、平成10(1998)年頃までは出生者数が死亡者数を上回っていたが、その後は本格的な少子高齢化社会を迎え、死亡者数が出生者数を上回って自然減となる傾向が続いている。

以上のことから、今後も人口減少傾向は続くものと懸念される。

### 人口移動

(単位：人)

区分		平成26年 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	令和元 (2019)	2 (2020)	3 (2021)
社会増減	転入	1,924	1,869	1,892	1,847	1,914	1,918	1,757	1,703
	転出	2,166	2,245	2,211	2,242	2,259	2,512	2,083	2,287
	増減	△242	△376	△319	△395	△345	△594	△326	△584
自然増減	出生	591	580	536	547	522	490	413	377
	死亡	1,029	1,187	1,170	1,192	1,153	1,327	1,229	1,244
	増減	△618	△607	△634	△645	△631	△837	△816	△867
増減計		△860	△983	△953	△1,040	△976	△1,431	△1,142	△1,451
人口		88,270	87,287	86,334	85,294	84,318	82,887	81,745	80,294

【資料：市民課（住民基本台帳）】

※各年1月1日から12月31日まで。ただし、人口は12月末現在

※平成24(2012)年7月9日より外国人住民も日本人と同じく「住民基本台帳法」が適用されたため、

平成24(2012)年7月31日現在の住民基本台帳人口・世帯数より外国人住民を含んだ数を表示

※（ ）内は外国人を含まない人数

### 第3節 昼間人口

平成27年国勢調査によると、本市の常住人口（夜間人口）86,833人のうち、毎日、他市町村の職場や学校に通っている、いわゆる昼間時流出人口は5,381人、逆に他市町村から市内の職場や学校に通ってくる昼間時流入人口は7,345人であり、昼間人口は88,797人となった。

昼間人口と通勤・通学人口

(単位：人・%)

区 分	常住地による人口（夜間人口）			他市町村 から通勤 (D)	他市町村 から通学 (E)	昼間人口 (A)-(B)-(C)+(D)+(E)	昼間人口率 昼間人口/ 夜間人口
	総 数 (A)	うち他市町村 へ通勤(B)	うち他市町村 へ通学(C)				
平成22年 (2010)	91,451	4,663	617	6,145	1,076	93,392	102.1
27 (2015)	86,833	4,635	746	6,493	852	88,797	102.3

【資料：企画政策課（国勢調査）】

※労働力状態不詳を含む。

※平成22年国勢調査・平成27年国勢調査の「就業者、通学者」について、「夜間人口」は従業地・通学地不詳を含み、「昼間人口」は従業地・通学地不詳で、当地に常住している者を含む。

※平成22年国勢調査は年齢不詳を含む。

※令和2年国勢調査の結果は、令和4(2022)年7月以降に公表予定につき、平成27年国勢調査の結果を表示している。

柏崎市からの就業者・通学者流出状況（15歳以上）

～柏崎市に暮らす人が昼間どこで就業・就学しているか～

（単位：人・％）

区 分	総 数	割 合	就 業 者	割 合	通 学 者	割 合
柏崎市で常住する者	45,176	100.00	41,479	100.00	3,697	100.00
柏崎市で就業・通学	39,418	87.25	36,477	87.94	2,941	79.55
自 宅	3,862	8.55	3,862	9.31	—	0.00
自宅以外	35,556	78.71	32,615	78.63	2,941	79.55
他市町村で就業・通学	5,407	11.97	4,687	11.30	720	19.48
県 内	4,897	10.84	4,320	10.41	577	15.61
新 潟 市	290	0.64	165	0.40	125	3.38
長 岡 市	2,206	4.88	1,870	4.51	336	9.09
三 条 市	38	0.08	36	0.09	2	0.05
新 発 田 市	10	0.02	9	0.02	1	0.03
小 千 谷 市	114	0.25	113	0.27	1	0.03
加 茂 市	10	0.02	5	0.01	5	0.14
十 日 町 市	79	0.17	75	0.18	4	0.11
見 附 市	33	0.07	33	0.08	—	0.00
村 上 市	1	0.00	—	0.00	1	0.03
燕 市	47	0.10	47	0.11	—	0.00
糸 魚 川 市	13	0.03	12	0.03	1	0.03
妙 高 市	9	0.02	9	0.02	—	0.00
五 泉 市	1	0.00	1	0.00	—	0.00
上 越 市	632	1.40	582	1.40	50	1.35
阿 賀 野 市	3	0.01	3	0.01	—	0.00
佐 渡 市	1	0.00	1	0.00	—	0.00
魚 沼 市	19	0.04	18	0.04	1	0.03
南 魚 沼 市	18	0.04	8	0.02	10	0.27
胎 内 市	2	0.00	2	0.00	—	0.00
聖 籠 町	2	0.00	1	0.02	1	0.03
弥 彦 村	10	0.02	10	0.00	—	0.00
出 雲 崎 町	224	0.50	186	0.02	38	1.03
津 南 町	3	0.01	3	0.01	—	0.00
刈 羽 村	1,132	2.51	1,131	2.73	1	0.03
他 県	453	1.00	315	0.76	138	3.73

【資料：企画政策課（国勢調査）】

※平成 27(2015)年 10 月 1 日現在の境域

※割合は小数点第三位以下四捨五入

※令和 2 年国勢調査の結果は、令和 4(2022)年 7 月以降に公表予定につき、平成 27 年国勢調査の結果を表示している。

柏崎市への就業者・通学者流入状況（15歳以上）

～柏崎市で就業・就学している人は、どこから通勤・通学してくるか～

（単位：人・％）

区 分	総 数	割 合	就 業 者	割 合	通 学 者	割 合
柏崎市で従業・通学する者	47,134	100.00	43,337	100.00	3,797	100.00
柏崎市に常住	39,418	83.63	36,477	84.17	2,941	77.46
自 宅	3,862	8.19	3,862	8.91	—	0.00
自宅以外	35,556	75.44	32,615	75.26	2,941	77.46
他市町村に常住	7,308	15.50	6,493	14.98	815	21.46
県 内	6,669	14.15	5,866	13.54	803	21.15
新潟市	337	0.71	286	0.66	51	1.34
長岡市	2,324	4.93	2,130	4.91	194	5.11
三条市	93	0.20	67	0.15	26	0.68
新発田市	20	0.04	14	0.03	6	0.16
小千谷市	246	0.52	219	0.51	27	0.71
加茂市	10	0.02	9	0.02	1	0.03
十日町市	226	0.48	214	0.49	12	0.32
見附市	83	0.18	78	0.18	5	0.13
村上市	6	0.01	5	0.01	1	0.03
燕 市	115	0.07	100	0.23	15	0.40
糸魚川市	7	0.01	3	0.01	4	0.11
妙高市	33	0.07	26	0.06	7	0.18
五泉市	4	0.01	3	0.01	1	0.03
上越市	1,210	2.57	952	2.20	258	6.79
阿賀野市	5	0.01	4	0.01	1	0.03
佐渡市	3	0.01	2	0.00	1	0.03
魚沼市	26	0.06	20	0.05	6	0.16
南魚沼市	25	0.05	19	0.04	6	0.16
胎内市	5	0.01	4	0.01	1	0.03
聖籠町	4	0.01	4	0.01	—	0.00
弥彦村	13	0.03	10	0.02	3	0.08
田上町	6	0.01	5	0.01	1	0.03
阿賀町	1	0.00	—	0.00	1	0.03
出雲崎町	388	0.82	319	0.74	69	1.82
湯沢町	1	0.00	1	0.00	0	0.00
津南町	4	0.01	4	0.01	—	0.00
刈羽村	1,472	3.12	1,366	3.15	106	2.79
関川村	2	0.00	2	0.00	—	0.00
他 県	639	1.36	627	1.45	12	0.32

※平成 27(2015)年 10 月 1 日現在の境域

【資料：企画政策課（国勢調査）】

※割合は小数点第三位以下四捨五入

※令和 2 年国勢調査の結果は、令和 4(2022)年 7 月以降に公表予定につき、平成 27 年国勢調査の結果を表示している。